

報告事項 1

第3回徳島県いじめ問題等対策審議会について

人権教育課

第3回 徳島県いじめ問題等対策審議会について

日 時	平成31年1月11日（金）午前10時から正午
場 所	県庁10階 大会議室
会次第	1 開 会 委員15名中10名出席 (1)教育委員会あいさつ 青山教育次長 (2)会長あいさつ 阿形会長
	2 協 議 (1)「ネットいじめ・トラブル防止啓発資料」について (2)「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」について (3)「平成30年度携帯電話等の利用状況アンケート調査結果」について
	3 閉 会

協議内容

- (1) 「ネットいじめ・トラブル防止啓発資料」について（佐藤検討部会長より報告）
 ・昨年9月26日に第2回、11月12日に第3回いじめ問題等対策検討部会を開催し、前回の審議会で皆様方からいただいた御意見をできるだけ反映したものとなるよう作成した。
 ・啓発資料が確実に保護者の手元に届くように、保護者との面談時に直接お渡ししたり、学校のホームページで案内し、保護者に周知してもらうことで家庭内での話し合いにつながればありがたい。
- (2) 「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」について
 ・一昔前のやんちゃな子や非行タイプの子は激減しているとよく聞くが、ネットの世界等にフィールドが移っているのではないか。
 ・いじめの被害者の心が前向きになるためには友人の影響が大きい。子供たち自身が被害者の心をケアするための方法を考える機会を設けてほしい。
 ・不登校について、高校では進路のミスマッチを感じる。入ってみたものの自分が思っていたのではなく無気力傾向になってしまう。
 ・苦しいことがあった時にそれを乗り越えていけるための取組も必要である。
 ・いじめられた子はスクールカウンセラーにつながることが多いが、いじめた子供に対するフォローも必要だと思う。
- (3) 「平成30年度携帯電話等の利用状況アンケート調査結果」について
 ・携帯を禁止するのではなく、うまく使っていける教育を目指して小・中・高校が連携しながら向き合っていくことが大切である。
 ・保護者からネット依存で困っている訴えや、ゲームをする時間を減らしてほしいという訴えがあるが、保護者がずっと携帯を触っているような場面もあり、大人が手本になれないところがある。
 ・子供たちは今後、100%携帯やインターネットに関わる。引き続きリーフレット等で子供たちを守る手立てを継続していただきたい。
 ・家庭でのルールに関する質問で、保護者と子供の回答にかい離がある。この辺の溝を埋められたら子供のネットの使い方を解決できると思う。

文部科学省平成 29 年度児童生徒の問題行動・不登校等
生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

「文部科学省 平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
における徳島県公立学校の調査結果について

(1) 暴力行為

暴力行為件数の推移（全国合計は全国公立学校の調査結果）

(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	21	45	51	71	186
中学校	275	207	282	212	233
高等学校	57	41	34	29	40
県合計(千人当たり件数)	353(4.6)	293(3.9)	367(4.9)	312(4.3)	459(6.4)
全国合計(千人当たり件数)	55,329(4.5)	50,927(4.2)	53,306(4.5)	55,646(4.7)	59,615(5.1)

暴力行為は459件で全校種で増加している。この要因としては、特に小学校において、学校における見守り体制を強化し、けんかやふざけあいなどにおける暴力行為も初期段階で発見・指導に努め暴力行為件数に計上したことにより増加につながったと捉えている。校種間では、中学校での発生が最も多く233件(50.8%)で、次いで小学校186件(40.5%)、高等学校40件(8.7%)となっている。

暴力行為の形態は、「生徒間暴力」341件(74.3%)、「器物損壊」65件(14.2%)、「対教師暴力」48件(10.5%)、「対人暴力」5件(1.1%)となっている。

(2) いじめ

いじめ認知件数の推移（全国合計は全国公立学校の調査結果）

(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	277	397	925	1,227	1,568
中学校	257	293	431	670	594
高等学校	15	28	70	66	86
特別支援学校	10	10	11	22	40
県合計(千人当たり件数)	559(7.2)	728(9.5)	1,437(19.0)	1,985(27.1)	2,288(31.7)
全国合計(千人当たり件数)	181,028(14.8)	182,985(15.1)	218,038(18.1)	313,590(26.3)	401,594(34.0)

いじめの認知件数は2,288件で、小学校・高等学校及び特別支援学校で増加している。

これは、教職員に法の定義が浸透し、より正確かつ積極的にいじめの認知を進めるとともに、アンケートの結果や児童生徒からの相談等を踏まえ、教師による聞き取りなどの取組を詳細に行った結果だと捉えている。なお、認知されたいじめのうち、約88.4%が解消されており、早期対応がなされた結果と捉えている。

「いじめの態様」(全9項目より複数回答)は、全校種で「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、次いで小学校・中学校・特別支援学校では「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」、高等学校では「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」となっている。

(3) 小学校・中学校における不登校

小学校・中学校不登校児童生徒数の推移（全国合計は全国公立学校の調査結果）（単位：人）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	105	125	116	116	135
中学校	533	495	431	410	483
小中合計(千人当たり人數)	638(11.1)	620(11.0)	547(9.9)	526(9.7)	618(11.6)
全国合計(千人当たり人數)	115,784(11.8)	118,787(12.2)	121,881(12.7)	129,116(13.6)	139,027(14.7)

小学校・中学校の不登校児童生徒数は618人で、ここ数年増減はあるものの概ね横ばい状態が続いている。

不登校の要因は、小学校では「不安の傾向がある」46人(34.1%)、「その他（理由がはっきりしない）」38人(28.1%)、「無気力の傾向がある」35人(25.9%)、中学校では「無気力の傾向がある」153人(31.7%)、「不安の傾向がある」116人(24.0%)、「学校における人間関係に課題を抱えている」109人(22.6%)などとなっている。

(4) 高等学校における不登校

高等学校不登校生徒数の推移（全国合計は全国公立学校の調査結果）（単位：人）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
徳島県(千人当たり人數)	118(6.1)	140(7.3)	101(5.4)	93(5.0)	101(5.5)
全国合計(千人当たり人數)	43,179(18.8)	41,555(18.2)	37,793(16.6)	37,049(16.3)	37,493(16.8)

高等学校の不登校生徒数は101人で、ここ数年増減はあるものの概ね横ばい状態が続いている。

不登校の要因は、「不安の傾向がある」28人(31.8%)、「無気力の傾向がある」24人(23.8%)、「学校における人間関係に課題を抱えている」23人(22.8%)などとなっている。

(5) 高等学校における中途退学者

高等学校中途退学者数の推移（全国合計は全国公立学校の調査結果）（単位：人）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
徳島県(出現率%)	252(1.3)	192(1.0)	160(0.8)	129(0.7)	139(0.7)
全国合計(出現率%)	38,602(1.6)	33,982(1.4)	31,083(1.3)	29,531(1.3)	28,929(1.3)

高等学校中途退学数は139人で、ここ数年増減はあるものの概ね横ばい状態が続いている。

中途退学の理由は、「進路変更」57人(41.0%)、「学校生活・学業不適応」41人(29.5%)、「問題行動等」18人(12.9%)などとなっている。

資料2

平成30年度携帯電話等の利用状況アンケート調査結果【児童・生徒】【保護者】

平成30年度携帯電話等の利用状況アンケート調査〔児童・生徒〕(平成28~30年度比較) 県教育委員会(抽出調査) 平成30年7月

[対象児童生徒 小学6年生-788人 中学2年生-837人 高校2年生-970人]

校 年 度	種 校 度	小学校			中学校			高校		
		H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 2 8	H 2 9	H 3 0
1 携帯電話を持っている		54.9%	55.2%	53.7%	62.7%	69.0%	68.3%	97.8%	98.3%	98.0%

★2~7の質問については、携帯電話を持っていると答えた児童生徒のみが回答

2 携帯電話の種類	スマートフォン	38.3%	39.2%	48.7%	76.7%	87.5%	87.9%	97.9%	98.8%	98.0%
	ガラケー	11.4%	11.6%		8.7%	6.8%		1.2%	1.4%	
	キッズ携帯	49.4%	40.0%		3.8%	5.2%		0.0%	0.6%	
3 携帯電話を持ち始めた時期	入学前	4.6%	4.1%	5.9%	小6前	45.7%	46.2%	47.4%	中3前	55.7%
	1~2年	18.4%	20.0%	18.4%	中1年	47.4%	46.4%	44.9%	高1年	42.1%
	3~4年	45.9%	43.8%	41.8%	中2年	6.8%	7.4%	7.7%	高2年	40.3%
	5~6年	31.1%	32.1%	33.8%						32.0%

4 携帯電話でブログや掲示板、SNSなどを利用して情報発信をしたことがある。		21.4%	13.4%	14.7%	41.8%	44.3%	48.8%		81.3%	80.5%	77.6%
	悪口・嫌がらせのメールメッセージの書き込み	0.5%	2.2%	1.9%	9.9%	7.6%	8.0%		7.2%	6.7%	8.5%
5 携帯電話やインターネットを利用していて遭ったトラブル	個人情報や写真の勝手な掲載	0.5%	1.2%	1.4%	7.4%	7.4%	5.1%		7.1%	8.1%	6.1%
	大量の迷惑メール	4.6%	5.1%	4.7%	14.8%	13.7%	9.3%		22.2%	21.0%	20.0%
	高額料金の請求	0.5%	0.5%	0.2%	4.3%	3.6%	2.4%		6.1%	6.1%	7.4%
	メールの送りつけ、写真や個人情報の送付要求	1.0%	0.2%	0.2%	4.5%	3.8%	2.6%		2.8%	2.5%	3.3%
	無料通信アプリ等での仲間外し	2.0%	0.5%	1.7%	4.0%	1.7%	1.9%		1.8%	1.2%	1.3%
	なりすましによるうそ情報の発信	1.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.5%	1.9%		1.4%	1.7%	2.8%
6 家庭で携帯電話の使い方のルールを決めている。		64.0%	68.2%	65.7%	57.0%	66.0%	57.3%		33.0%	43.1%	37.2%
7 現在、フィルタリングを利用している	はい				22.5%			41.4%		44.1%	
	いいえ				9.2%			11.5%		18.6%	
	わからない				68.3%			47.0%		37.3%	

平成30年度携帯電話等の利用状況アンケート調査〔保護者〕（平成28～30年度比較）県教育委員会（抽出調査）平成30年7月

〔対象保護者数 小学校565人 中学校728人 高校829人〕											
	校種	小学校			中学校			高校			
	年 度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 2 8	H 2 9	H 2 9	H 3 0
1	お子様は、携帯電話（スマートフォンも含む）を持っているか	47.2%	42.0%	44.6%	53.3%	59.4%	64.7%	98.4%	99.5%	99.5%	99.5%
★2～5の質問については、お子様が携帯電話（スマートフォン含む）を持つていると答えた保護者のみが回答											
2	長時間利用による学習、生活、健康への影響	71.3%	67.7%	77.4%	79.3%	84.6%	83.2%	77.0%	77.9%	80.8%	
	高額な利用料金	43.4%	26.4%	19.8%	27.1%	20.2%	16.8%	27.6%	18.6%	17.6%	
	いじめ等、友人との人間関係のトラブル	74.1%	59.1%	59.5%	68.5%	60.7%	63.7%	52.7%	46.9%	42.4%	
	個人情報流出や悪用、しつこいメールや呼出し	74.1%	58.4%	59.1%	72.4%	61.8%	59.0%	72.1%	62.2%	61.0%	
	携帯利用に関する家庭内でのルールのこと	20.3%	26.4%	24.2%	15.3%	35.3%	29.3%	13.1%	19.3%	19.8%	
	有害サイトへのアクセス	69.2%	49.1%	48.4%	58.6%	48.4%	47.8%	45.6%	44.2%	42.2%	
	携帯電話やインターネットの問題に参加したことがある	11.2%	23.8%	21.6%	33.5%	25.4%	30.0%	29.6%	31.2%	26.6%	
3	お子様と、家庭で携帯電話の使い方のルールを決めている	74.8%	75.8%	81.6%	76.0%	80.8%	83.2%	51.6%	64.2%	60.4%	
	家庭で決めている携帯電話のルール										
	①使用時間や使用回数の制限（例 夜〇時以降は使わない。1日〇時間）		55.9%	62.0%		58.0%	54.7%		25.7%	26.7%	
	②使用金額を制限（例 有料ものは禁止又は保護者に相談）		43.1%	33.7%		52.1%	47.4%		52.2%	51.1%	
	③フィルタリング機能を利用している（はずがない）		44.1%	48.1%		48.6%	53.7%		46.3%	43.9%	
	④使用してもよい時間を決めている。（例 勉強中、食事中は使用禁止）		56.9%	58.7%		53.8%	57.4%		37.4%	39.5%	
	⑤使用してもよい場所を決めている。（例 ベッド、お風呂に持込禁止）		35.3%	36.5%		36.4%	36.3%		22.5%	20.4%	
	⑥充電する場所、就寝時に置いておく場所等を決めている。		45.6%	44.2%		41.3%	43.6%		28.2%	28.1%	
	⑦人の悪口や相手が嫌な思いをすることは書き込まない。		51.5%	40.9%		62.6%	66.5%		55.9%	59.9%	
	⑧自分や友達の個人情報や画像を載せない。		43.6%	39.4%		47.2%	51.9%		43.2%	45.1%	
	⑨困ったことがあれば、すぐに保護者や先生等に相談する。		49.5%	49.0%		55.2%	53.9%		49.3%	54.3%	
	⑩アプリのインストールは保護者や先生等に相談する。		56.9%	58.7%		49.3%	53.4%		22.3%	23.4%	
4	⑪IDやパスワードを安易に人に教えない。		38.7%	41.8%		52.1%	46.3%		44.1%	49.3%	
	⑫ルールを守らなかつた時に、保護者が預かる等の約束事を決めている。		53.9%	59.7%		68.9%	65.5%		33.4%	38.5%	